

資料番号	5
------	---

令和4年5月19日
課名 農林水産局農業技術課
担当者 課長 出原
内線 3556

## 県立農業技術大学校の学生確保及び就農状況について

### 1 要旨・目的

県立農業技術大学校における令和4年度の学生の確保状況と令和3年度卒業生の就農状況を取りまとめたので報告する。

### 2 現状・背景

農業関係高校との連携等による学生確保に向けた募集活動を行うとともに、在学生については、農業法人へのインターンシップや模擬経営実習等を実施し、次世代を担う農業者の育成に取り組んでいる。

### 3 概要

#### (1) 入学生の推移（令和2年度～令和4年度実績） （単位：人）

学生内訳	年度別入学生数の推移			（参考） 令和4年度在校生内訳		
	R2	R3	R4			
一学年定員 (a)	40			1年生	2年生	合計
入学生数 (b)	28	27	18	18	25	43
農業関係高校出身	12	10	9	9	10	19
農業関係高校以外高校出身	13	13	6	6	13	19
一般社会人等	3	4	3	3	2	5
入学定員充足率 (%) (b/a)	70.0	67.5	45.0	-		
非農家率 (%)	64.3	77.8	88.9	-		

#### (2) 卒業生の進路（令和元年度～令和3年度実績） （単位：人）

卒業年度	R元	R2	R3
卒業生数 (a)	17	24	23
就農小計 (b)	11	16	19
自営	1	4	3
農業法人等	10	11	13
就農に向けた研修	0	1	3
農業関連就職（JA、農機具会社等）	3	5	1
一般企業就職	3	2	3
その他	0	1	0
就農率 (%) (b/a)	64.7	66.7	82.6

#### 4 課題・効果の分析

令和4年度の入学生は、前年度、高校生を対象にオープンキャンパス等を開催し、大学校を体感する機会を設けたが、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により参加者が少なく、十分な受験者の確保につながらなかった。特に、農業関係高校以外の高校からの入学生が少なかったことから、今後、学校訪問等を通じその要因を把握・分析する。

一方で、令和3年度の卒業生は、農業法人でのインターシップなど農業現場における実習等を充実させたことにより、就職就農する学生が増加しており、2025農林水産業アクションプログラムで育成に取り組んでいる企業経営体の雇用人材としてマッチングが進んでいる。

#### 5 今後の対応

入学生の確保に対しては、県教育委員会と連携し、オープンキャンパスなど交流事業の開催に係る事前調整を十分に行いながら高校生の参加を促すとともに、高校訪問により大学校のPR活動を行うことで学生の確保に努める。また、スマート農業に係る環境整備を進め、特徴的な魅力の一つとして情報発信に取り組む。

就農対策としては、引き続き、農業法人等との雇用就農ガイダンスや先進経営体での実習などの機会を活用し、企業経営体とのマッチングによる雇用就農を推進する。